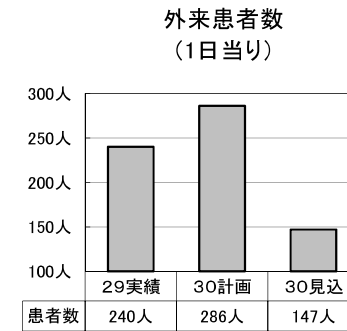
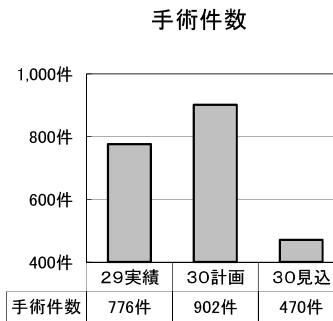
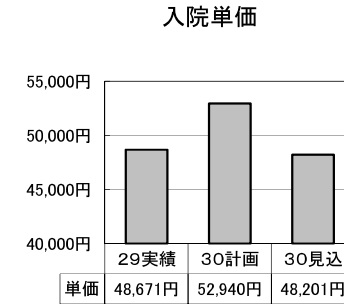
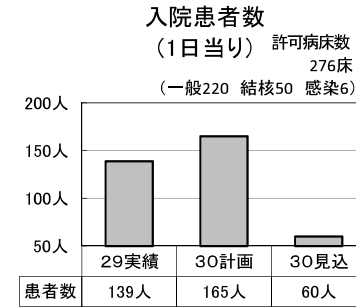
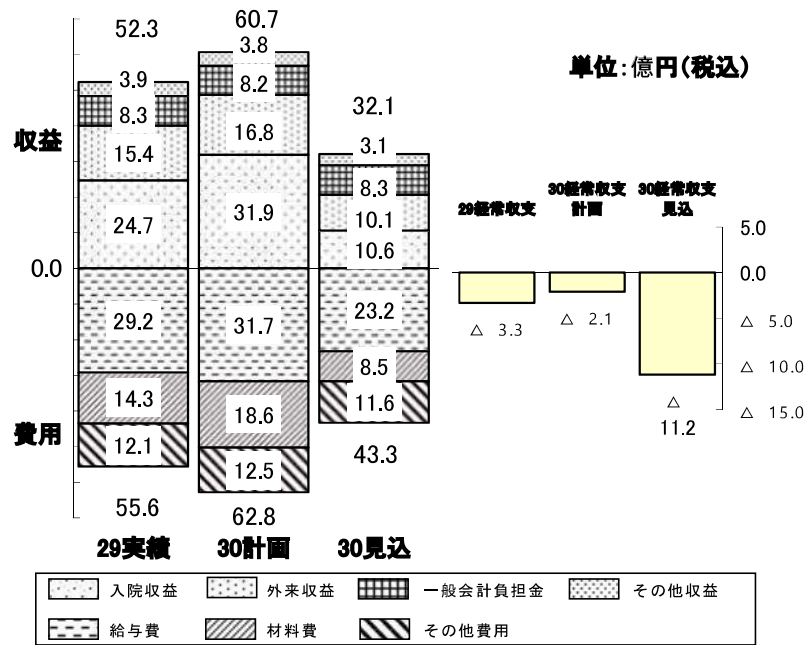


がんセンター愛知病院の取組状況

1 平成30年度計画と決算見込比較

資料4



<収益>

収益は32.1億円で、計画(60.7億円)に比較し28.6億円の減収。

- ・入院収益は、患者数や手術件数の減などにより21.3億円の減収。
- ・外来収益は、患者数の減などにより6.7億円の減収。

<費用>

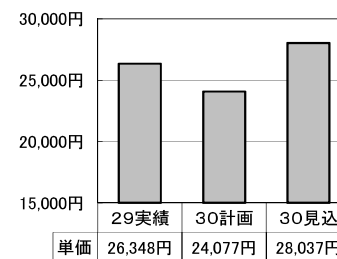
費用は43.3億円で、計画(62.8億円)に比較して19.5億円の減少。

- ・給与費は、医師の欠員や計画と実績の単価差により8.5億円の減少。
- ・材料費は、患者数の減少などにより10.1億円の減少。
- ・その他費用は、経費の減などにより0.9億円の減少。

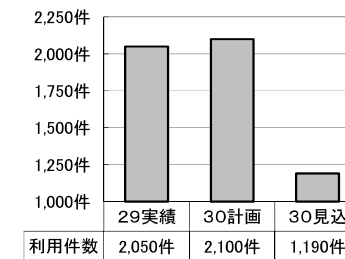
<経常収支>

経常収支は11.2億円の赤字となる見込みで、計画(2.1億円の赤字)に比べ9.1億円下回る。

外来単価



緩和ケア利用件数



【参考】収益的収支見込（がんセンター愛知病院）

（単位：億円）

		H29 決算	H30		
			計画	見込	見込－計画
収益	入院収益	24.7	31.9	10.6	△ 21.3
	外来収益	15.4	16.8	10.1	△ 6.7
	一般会計負担金	8.3	8.2	8.3	0.1
	その他収益	3.9	3.8	3.1	△ 0.7
	収益 計	52.3	60.7	32.1	△ 28.6
費用	給与費	29.2	31.7	23.2	△ 8.5
	材料費	14.3	18.6	8.5	△ 10.1
	その他費用	12.1	12.5	11.6	△ 0.9
	費用 計	55.6	62.8	43.3	△ 19.5
経常損益		△ 3.3	△ 2.1	△ 11.2	△ 9.1
経常収支比率		94.0%	96.7%	74.1%	-22.6%
医業収支比率		75.5%	80.8%	51.8%	-29.0%

※ 特別利益、特別損失を除く

2 目標（成果指標）の達成状況

成果指標	単位	H29 実績	H30 目標	H30 見込	達成率
新外来患者数(結核を除く)(初診料算定数)	人	5,729	6,169	3,040	49.3%
1日当たり外来患者数(結核を除く)	人	237.4	277.0	146.4	52.9%
がんの新入院患者数	人	3,585	3,956	1,420	35.9%
新入院患者数(結核を除く)	人	3,752	4,210	1,470	34.9%
病床利用率(結核を除く)	%	57.1	68.5	22.6	33.0%
手術件数	件	776	902	470	52.1%
がんの手術件数	件	401	507	190	37.5%
新入院患者数(緩和ケア病棟)	人	281	312	110	35.3%
病床利用率(緩和ケア病棟)	%	85.2	95.0	60.0	63.2%
緩和ケア利用件数	件	2,050	2,100	1,190	56.7%
緩和ケア訪問診療件数	件	17	34	2	5.9%
医療相談件数	件	1,821	2,600	1,230	47.3%

3 経営改善に関連する主要な取組

(1) がん看護外来の患者数の増加

全体の患者数の減少もあり、看護師の時間的余裕が生じたため、認定看護師による患者サポートである看護外来に力を入れている。その結果、12月までのがん看護外来の患者数は350件であり、すでに昨年度実績330件より上回っている。

(2) 施設基準の取得

診療報酬請求点数の増加のため、入院基本料等加算の施設基準の取得に努め、平成30年度に「後発医薬品使用体制加算2（40点）」、「入院時支援加算2一般（190点）」、「入院時支援加算2療養（635点）」、「入院時支援加算（200点）」、「医師事務作業補助体制加算（230点）」等の施設基準を新規に取得し、12月までに約300万円の増収となった。

4 がんセンター愛知病院の岡崎市への移管について

(1) 移管内容

がんセンター愛知病院は平成31年4月1日に岡崎市へ移管し、岡崎市民病院と一体的に岡崎市が運営する。

(2) 移管に伴う医療機能の再編

- ・両院で行われているがん医療については岡崎市民病院へ集約し、高度ながん医療を一貫して提供する。
- ・愛知病院で行っている結核・感染症等の政策医療も岡崎市民病院へ移行し、慢性疾患を併せ持った患者にも対応できるようにする。
- ・岡崎市立愛知病院は、亜急性期や在宅復帰支援に係る医療機能に転換し、回復期病床等の確保が課題に挙げられている愛知県地域医療構想の実現に資する。